

(論文博士) (様式 7)

深澤 昌子 氏から学位申請のため提出された論文の審査要旨

題 目

主論文：

Effect of group activities on health promotion for community-dwelling elderly

(地域高齢者の健康増進におけるグループ活動の効果)

Journal of Rural Medicine (in press) 11(1) 2016

Masako Fukasawa, Haruyasu Yamaguchi

論文の要旨及び判定理由

主論文

本研究は、健康増進に有効な運営方法を明らかにすることを目的とし、高齢者教室とサロンの開始後と6ヵ月後の計2回にわたり、参加者と関係者に対して、健康関連の評価指標のアンケートを実施した。参加者は、高齢者教室（10箇所）354人、サロン（8箇所）の96人であった。アンケートは、MFS、PGCMS、MPI、老研式活動能力指標の下位尺度を用いた。加えて、グループ活動の運営方法と内容について調査した。結果から、高齢者教室では高頻度群のみで生活体力と主観的幸福感が改善し、サロン活動では高頻度開催群のみで手段的自立が改善した。したがって、高齢者教室やサロン活動で健康増進効果を得るためには、開催回数や開催頻度が高いことが、健康増進効果の主たる要因となることが明らかになった。

と認められ、博士（保健学）の学位に値するものと判定した。

平成28年4月11日

審査委員

主査	群馬大学教授（保健学研究科） リハビリテーション学講座	外里 富佐江	印
副査	群馬大学教授（保健学研究科） リハビリテーション学講座	土橋 邦生	印
副査	群馬大学教授（保健学研究科） 看護学講座	内田 陽子	印

参考論文

1. 群馬県の介護予防サポーターが活躍するための地域連携の検討
リハビリテーション連携科学 10(2): 73-80, 2009.
深澤昌子

2. 住民主導型筋トレ「鬼石モデル」の支援
身体福祉学会第1回学術大会論集：23-25, 2007.
深澤昌子

3. 群馬県沼田市の「介護予防サポーター」の特性と募集方法の検討
保健の科学 52(9): 641-645, 2010.
深澤昌子、浅川康吉、山口晴保